

大田の教育を考える会

第11回学習会 2013年10月4日(金)午後6:30~8:00

会場：大田区民センター

会場は前回とは違います！

(富士通先) JR蒲田駅西口下車徒歩8分 会場地図裏面に

部落差別と教育

講師：高城 順さん 部落解放同盟品川支部書記長

お肉の情報館で、と畜の授業を行う

「お肉の情報館」は2002年12月、東京都芝浦と場・東京食肉市場内に開設されました。食肉市場・芝浦と場は、新鮮で安全なお肉を安定的に供給し、都民の食生活を豊かにする重要な役割を担っています。この情報館には、食肉市場への理解を深めるために、①と場の業務・役割の紹介、②肉の生産・流通の紹介、③食肉市場・と場に対する偏見や差別の解消などが展示されています。被差別部落への差別意識を払拭するために、近世の長吏や非人が携わった斃牛馬処理の社会的な意義を明らかにすると共に、現代におけると畜と私たちの生活をとらえなおす必要があります。高城さんはこの「お肉の情報館」において、また小学校、教育委員会などに出向いて、と場の授業や説明をしています。また、今年50年を迎えた狭山事件は部落差別を利用してでっちあげられた冤罪事件です。今回は「部落差別と教育」と題して、と場について、狭山事件について、高城さんにお話ししていただきます。

大田区平和都市宣言

『平和って なあに
しあわせな ことよ
しあわせって なあに
自由で楽しくいらしができること
だから 世界中の人と 力をあわせて
大切な 平和を守らなければ いけないの
地球上どこへ行っても 笑顔があるように...』



この人類共通の願いをこめて 大田区は
平和憲法を擁護し核兵器のない
平和都市であることを宣言する』

昭和59年8月15日(1984年) 大田区

講師紹介

高城 順さん

部落解放同盟品川支部書記長。

全芝浦屠場労組副委員長。

「お肉の情報館」で講師を務める。小学校などにも出張し、授業を行う。

大田区における、人権教育に関わり、先進地視察などの講師を務める。

平和都市宣言を行った大田区の教育委員会が育鵬社版教科書を採択したことに、私たちは強く抗議します。

(連絡先) 大田区教職員組合

TEL 03-3737-1241

FAX 03-3737-1324

※ 裏に会場地図, 資料がしま

育鵬社・公民教科書 における部落差別の書き方

育鵬社は、側注で「部落差別の起こり」について「中世の時代から町民や農民などのいずれの身分にも属さず芸能や清掃・皮革業などにたずさわり差別視されていた人々がいました。部落差別は、かれらが集団をつくり集落に定住を始めた江戸時代に、同じ身分集団とされてからおこったものです」と記述しています。これは、江戸時代の幕府や藩が、部落差別をはじめとする身分差別によって民衆の支配を強化しようとした責任を隠す文章です。また現在の部落差別の実態について、**東京書籍**は p46 のコラムで具体的に説明していますが、育鵬社は一般的な説明しかしていません。

また p68 の『『ともに生きる』ために尽くした先人』というコラムで、水平社宣言を起草した西光万吉を取りあげ、彼が「天照大神が治める高天原を理想とした・・・時期もありました」と述べています。しかし、彼が共和制を支持し「平民よ、常に人類社会に不幸をもたらしたものはこれ（王や貴族）である」と述べた文は紹介せず、全国水平社や部落解放運動を誤解させる書き方です。

高文研「中学校歴史・公民 育鵬社教科書をどう読むか」子どもと教科書全国ネット21編 P115より

育鵬社・歴史教科書 における部落差別の書き方

江戸時代の身分差別の項を見ると、**育鵬社の歴史教科書**では「百姓の暮らす村」というページに小見出しも無く、5行書かれているだけです。「百姓・町人とは別に、えた・ひにんとよばれる身分もありました。これらの人々は農業のほか、死んだ牛馬の処理や、皮革製品をつくったり、役目として罪人の世話などを担当しました。住む場所を制限されるなど、さまざまな面できびしい差別を受けました。」(117字)

これに対し、**他社の教科書**では、同じ個所では小見出しをつけて、**約2倍以上の字数**を使って解説し、江戸時代の後期の渋染め一揆に触れた教科書もあります。例えば以下のような記述と比べて下さい。「厳しい身分による差別 百姓・町人とは別に、えた身分、ひにん身分などの人々がいました。えた身分は、農業に従事して年貢をおさめたほか、死んだ牛馬の解体や皮革業、雪駄生産、雑業などをして生活しました。又、犯罪者をとらえることや牢番など役人の下働きも、役目として努めました。ひにん身分も、役人の下働きや芸能、雑業などで生活しました。これらの身分の人々は、ほかの身分の人々から厳しく差別され、村の運営や祭礼にも参加できませんでした。また、幕府や藩により住む場所や職業を制限され、服装をはじめさまざまな規制を受けました。このことは、これらの身分の人々に対する差別意識を強める働きをしました。」(289字) 加えて右の欄外に「雪駄づくり」の挿絵と解説があります(東京書籍版)。育鵬社の記述の問題点を一緒に考えていきましょう。

◇◇大田区民センター◇◇

住所：大田区新蒲田 1-18-23

電話：03-3734-0761

JR 蒲田駅西口下車

川崎方面に歩き富士通手前で右折しその先でまた右折

